

青い旅

出雲市子ども支援センターの主な業務

相談活動 子ども支援活動 補導活動
啓発活動 他機関連携・環境浄化など

場所 出雲市今市町北本町1-7
(出雲勤労青少年ホーム内)
TEL 0853-21-4444
相談電話フリーダイヤル 0120-84-7867
URL <http://www.city.izumo.shimane.jp>

平成17年(2005)9月

2学期が始まりました

長かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。2学期は、「実りの秋」とか「食欲の秋」「読書の秋」などと言われるように、スポーツや教科の学習に最適な時季です。しかし、夏休みの生活からうまく切り替わらないと、新学期のスタートでもたつくことがあります。2学期が身体的にも、精神的にも充実した学期であることを願っています。家族や大人として子どもと向き合うとき、子どものありのままの姿を認め、励ましたいものです。

慌てずあせらず、徐々に学校生活に慣れるように見守りましょう

長かった夏休み。子どもたちは、文化活動やスポーツなど、さまざまな体験をしたことでしょう。また、親戚などで泊まったり、合宿や県内外、海外などでの生活をしたりした子どももいるのではないのでしょうか。環境の変化からか、2学期になって、目覚めが悪かったり、通園や通学をしづらかったりすることがあります。こんな時、あまり無理強いをせず「きょうは早く起きたね」とか「通園、通学がんばろうね」と励まし、「やる気」のやる声かけによって、徐々に本来の生活に戻るようにしたいものです。

自然の恵みに感謝し、心身ともにたくましい子ども

今の子どもたちは、「無感動」「無責任」「無関心」などと、耳にすることがあります。それは、どうしてでしょうか。子どもは「親(大人)の鏡」です。親や周囲の大人がそのような態度で人に接していると、見ている子どもは「無感動」「無責任」の傾向を示すようになってしまうと思います。

最近、何か用事があるとつい車に頼りがちです。時には、親子で歩いてみたり、散歩をしたりして、自然や夕日の美しさに親子で感動し、自然のすばらしさを語りあってみるのもいいかもしれません。また、栗や柿など秋の味覚に感謝し、味わって食べることも大切です。「残さず食べよう」とか「もったいない」とかという言葉も聞くことも少なくなってきました。物を大切に扱うことは、ひいては環境問題にもつながってきます。豊かな秋、折々に自然に触れ、心身ともに豊かな子に育てて欲しいものです。



国民年金保険料の 納め忘れはありませんか? 保険料はきちんと納付しましょう

◆ 保険料はお忘れなく!

国民年金保険料は、20歳から60歳までの40年間納めることになっています。保険料の納め忘れがあると、将来、受け取る年金が少なくなるだけでなく、年金が受けられなくなる場合もあります。保険料の納付期限は翌月末日です。忘れずにきちんと納めましょう。



保険料の額(平成17年度の額)

定額保険料.....1カ月 13,580円
付加保険料.....1カ月 400円

将来、少しでも多くの年金を希望する人は、手続きをすれば定額保険料に付加保険料を上乗せして納付することができます。納めた月数×200円の金額が老齢基礎年金に加算されます。(ただし、国民年金基金加入者は、付加保険料を納めることはできません。)

◆ 保険料納付は口座振替が便利です!

保険料は(社会保険庁)から送付される納付書で、銀行などの金融機関や郵便局あるいは社会保険事務所の窓口で納める方法と口座振替があります。また、コンビニエンスストアでの納付も可能です。口座振替の手続きは...「口座振替納付申出書」を金融機関・郵便局もしくは社会保険事務所の窓口にご提出ください。

口座振替早割制度がお得です

今年度から口座振替早割制度が選べるようになりました。通常の口座振替は、当月保険料を翌月末に引き落としますが、早割制度では当月保険料を当月末に引き落とすため、40円の割引があります。

月額13,580円 月額13,540円



国民年金に関するおたずねは 島根社会保険事務局出雲事務所 (TEL 24-0042)
市保険年金課 (TEL 21-2211 内線4315)・各支所市民生活課